

Q11a **すざく衛星による Tornado Nebula (G357.7-0.1) の起源の解明**

鶴 剛、澤田真理、小山勝二(京都大学)、岡 朋治(慶應義塾大学)

銀河中心方向に存在する Tornado (G 357.7-0.1) は、その名の通り「竜巻」の様に見える奇妙な電波星雲である。明るい「ヘッド」と「テール」領域を持つ。

私達は「すざく」の観測から、この「ヘッド」と「テール」と同じ位置を持つ拡散X線放射を発見した。この2つの拡散X線放射のスペクトルから高階電離輝線を発見した。光学的に薄い熱的プラズマである。温度は同じある ($kT=0.6-0.7\text{keV}$)。2つの拡散X線放射の吸収量は同じであり、銀河中心までの値よりもやや大きい。この拡散X線放射の吸収量から推定する距離は、電波で決めた Tornado までの距離と矛盾しない。すなわち2つの拡散X線放射は電波星雲 Tornado に付随すると結論できる。

電波星雲 Tornado の両端に位置するこの双子状の形態から、双極状のアウトフローを持つ天体に起源を持つと結論できる。